

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2013-215426(P2013-215426A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-89276(P2012-89276)

【国際特許分類】

A 6 3 B 24/00 (2006.01)

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

A 6 3 B 71/06 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 24/00

A 6 3 B 69/00 C

A 6 3 B 71/06 T

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月7日(2015.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザーが運動中の第1の運動経路の環境情報と、第2の運動経路の環境情報とを利用して、前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動中に前記ユーザーにかかる第1の運動負荷と、前記ユーザーが前記第2の運動経路を運動した場合に前記ユーザーにかかる第2の運動負荷との差を計算する運動負荷計算部と、

前記運動負荷計算部の計算結果に応じて、前記ユーザーが運動する残りの運動経路及び前記ユーザーが運動した運動時間の少なくとも何れか一方を補正する運動情報補正部と、

前記運動情報補正部が補正した情報を含む運動支援情報を生成する運動支援情報生成部と、

を含む、情報処理装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記運動負荷計算部は、

前記第1の運動経路の地形情報と前記第2の運動経路の地形情報とをさらに利用して、前記第1の運動負荷と前記第2の運動負荷との差を計算する、情報処理装置。

【請求項3】

請求項1又は2において、

前記第2の運動経路の環境情報は、

前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動中に取得された環境情報である、情報処理装置。

【請求項4】

請求項1又は2において、

前記第2の運動経路の環境情報は、

前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動する前、又は前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動した後に取得された環境情報である、情報処理装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項において、

前記ユーザーの生体情報をを利用して、前記ユーザーの危険度を判定する危険度判定部をさらに含み、

前記運動支援情報生成部は、

前記危険度判定部の判定結果の情報を含む前記運動支援情報を生成する、情報処理装置。

【請求項 6】

請求項 5 において、

前記危険度判定部は、前記ユーザーが筋肉疲労、脱水症状、および心肺停止の少なくとも一つを発生する確率を判定する、情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 5 において、

前記危険度判定部は、前記ユーザーの生体情報について、運動開始時を基準値として前記基準値からの変化量に応じて前記危険度を判定する、情報処理装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項において、

前記ユーザーが運動する領域の地形情報を前記第 2 の運動経路の地形情報をを利用して、前記ユーザーが運動を開始する前に想定される前記第 1 の運動負荷が前記第 2 の運動負荷に近づくように、前記第 1 の運動経路の候補を選出する経路候補選出部をさらに含み、

前記運動支援情報生成部は、

前記経路候補選出部が選出した前記第 1 の運動経路の候補の情報を含む前記運動支援情報を生成する、情報処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項において、

前記第 2 の環境情報は、

前記第 2 の運動経路を含む領域に配置されている複数の環境計測装置が計測した環境情報である、情報処理装置。

【請求項 10】

請求項 9 において、

前記第 1 の環境情報は、

前記第 1 の運動経路を含む領域に配置されている複数の環境計測装置が計測した環境情報である、情報処理装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の情報処理装置と、

前記第 2 の運動経路を含む領域に配置されている複数の環境計測装置と、

を含む、運動支援情報提供システム。

【請求項 12】

請求項 11 において、

前記第 1 の運動経路を含む領域に配置されている複数の環境計測装置をさらに含む、運動支援情報提供システム。

【請求項 13】

ユーザーが運動中の第 1 の運動経路の環境情報を、第 2 の運動経路の環境情報をを利用して、前記ユーザーが前記第 1 の運動経路を運動中に前記ユーザーにかかる第 1 の運動負荷と、前記ユーザーが前記第 2 の運動経路を運動した場合に前記ユーザーにかかる第 2 の運動負荷との差を計算する運動負荷計算ステップと、

前記運動負荷計算ステップの計算結果に応じて、前記第 1 の運動経路及び前記ユーザーの運動時間の少なくとも何れか一方を補正する運動情報補正ステップと、

前記運動情報補正ステップで補正した情報を含む運動支援情報を生成する運動支援情報生成ステップと、

を含む、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 において、

前記運動負荷計算ステップは、

前記第1の運動経路の地形情報と前記第2の運動経路の地形情報をさらに利用して、前記第1の運動負荷と前記第2の運動負荷との差を計算する、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 3 又は 1 4 において、

前記第2の運動経路の環境情報は、

前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動中に取得された環境情報である、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 6】

請求項 1 3 又は 1 4 において、

前記第2の運動経路の環境情報は、

前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動する前、又は前記ユーザーが前記第1の運動経路を運動した後に取得された環境情報である、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 7】

請求項 1 3 乃至 1 6 のいずれか一項において、

前記ユーザーの生体情報をを利用して、前記ユーザーの危険度を判定する危険度判定ステップをさらに含み、

前記運動支援情報生成ステップは、

前記危険度判定ステップの判定結果の情報を含む前記運動支援情報を生成する、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 において、

前記危険度判定ステップは、前記ユーザーが筋肉疲労、脱水症状、および心肺停止の少なくとも一つを発生する確率を判定する、運動支援情報提供方法。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 において、

前記危険度判定ステップは、前記ユーザーの生体情報について、運動開始時を基準値として前記基準値からの変化量に応じて前記危険度を判定する、運動支援情報提供方法。